



原発問題の解決はできない 3・6原発のない社会へ 2021びわこ集会

3・11以降10年が経過した。原子力緊急事態宣言はもちろん解除されていない。3月7日肌寒いびわ湖畔に原子力発電は許さないと500名の市民が集まつた。

ンターで、朝10時から末田一秀さんの「関西電力原発マネーの不正還流事件」講演会

や、福田章典医師による「安定期ヨウ素材の使用説明会」、福島から避難された青田恵子さんによる布絵展示会が開かれた。

は、閑職の裁判官から現職工
リート裁判官の判決というこ
とで、反原発のうねりが大き
くなってきたことを物語って
きている。関電不正マネー問
題も原発がこのような不正利
権構造を持つものであること
が益々明らかになってきた。
また、原発賠償関西訴訟原
告団の佐藤勝十志さんは、

久しぶりの集会で、参加者数も全くわからない状況でしたが、ふたを開けてみると、会場への参加者が87名、初めに取り組んだオンライン参加者が18名と合計105名もの参加者を得ることが出来ました。

元会長の発言など
人権に鋭く切り込
んだ熱弁だった。

続く決起集会の
開催。嘉田由紀子
参議と米原市長の
来賓挨拶を受け井
戸謙一弁護士の基
調報告。トリチウ

「トリチウムなどの海洋放出は国際条約で禁じられている」と報告。ますます、福島の状況を広げていくと報告された。最後に関電滋賀支社ビル前を通過するデモ行進が行われ、道行く人の注目を集めた。(さいなら原発・びわこネットワーク 井沢 清)

今回の講演は、福島県浪江町から兵庫県三木市に避難されている菅野（かんの）みずえさんでした。菅野さんから「もう10年まだ10年」と題してはなしてもらいました。「自分の家が獸に荒らされていること、更に泥棒までもが自宅を好き放題にしている現状を考えられますか?」

老朽原発 うやこかすな! ニュース

第38号

発行・老朽原発うごかすな!
実行委員会

[連絡先] 090-1965-7102

誰もが「いつ原発事故被害者になるかも」知れない

すか?と問いたい」とも話されました。

もう1つの報告は、「『子ども脱被ばく裁判』が問いかけるもの」と題しての報告でした。この裁判は、子どもが原告になつて「安全な環境下で教育を受けさせよ!」等を求め、国・東電を2015年夏に訴え、以来6年半余り闘つてきたものです。この裁判を支える会・西日本事務局を脱原発はりまの後藤由美子さんが担い、裁判のたびに福島へ

「勝利判決」を期待したので「勝利判決」を期待したのですが、血も涙もない「不当判決」そのものでした。裁判長も氣おくれしたのか「判決全文」のみを読むと1分前後で裁判は、控訴が決まりました。更なる支援で不当判決を覆さなければなりません。

(脱原発はりまアクション
菅野逸雄)

高浜原発3号機再稼働に

街宣車・ヒトリデモで緊急抗議行動

3月7日(日)、関電が高浜3号機のテロ対策工事を終了し再稼動するので、急きよ8名が高浜に向かった。

高浜原発北門では朝6時半からIさんが抗議行動をさせていた。街宣車は大音響で「蒸気発生器伝熱管事故の原因は究明されていない!」「政府・関電・福井県知事は原発をうごかすために、使用済み核燃料の保管候補地を2度も反故にし、更に3年延長は許さないぞ!」「関電は、私たちが支払った

電気代を、美浜町長に競争入札せず工事費に垂れ流す確約をした。

原発マネーの還流体質は変わつていなくて!」と訴えた。北門と正門前では、警察が2人見守る?

なか、「反原発」「老朽原発うごかすな」の旗や幟を持ち、間隔をとりながらゲート前を回るヒトリデモを行い、

「関電は高浜3号機をうごかすな!」「関電は原発を安全にうごかす資格を持つていない!」とそれぞれが訴えた。

その後、舞鶴市に移動し「3・20高浜全国集会」「危険すぎる老朽原発のチラシを各戸配布。さらに舞鶴で開

(K・K)



闘つた武者たち(3月7日)

バイバイ原発3・6きょうとに850名が参加

参加されていた福島からの避難者・菅野みづえさんから「本ができました」と原稿が寄せられました。

いつもお世話をなつております。機会をいただき、福島の現状をと思いましたが長くなりますが、グリーンアクションから発行された、アイリーン・美緒子・スミスさんのインタビューの本の紹介をさせてください。

2016年にインタビューを受けて、事故後10年経つ

立地やその周辺に全戸配布したいという、壮大な目標を立てたのです。それで福井の方々に連帶するため、スタンディングアピールに参加しました。

催された「さよなら原発舞鶴集会」に連帯するため、スタンディングアピールに参加しました。原発賛成の方々に、こんなことになる覚悟はおありますかと伝えたいのです。他人ごとでない未来が待つてはいませんか、今ならまだ間に合いますよと伝えなければと。

木原壯林さんなど一緒に6人で申し立てたコロナ禍での原発の運転はやめよ仮処分の決定書交付が17日午後から決まりました。どんな決定が出るやら。却下で終わらなければ、不安になりますが、どんな決定があろうとも、今から、ここからと頑張るしかありませんね。

(コロナ禍での運転差し止め仮処分債務者
菅野みづえ)

の傍聴行動や会員の拡大で支えて来ました。裁判支援署名も8万6千余名にものぼりました。

「本ができました」と原稿が寄せられました。

今、アジェンダのFさんが一 手に音声を文字化してくださいます。機会をいただき、福島の現状をと思いましたが長くなりますが、グリーンアクションから発行された、アイリーン・美緒子・スミスさんのインタビューの本の紹介をさせてください。

この本を売り切って、資金とし、それだけでは足りないので、カンパの訴えもしながら抜粋版を作り、福井の原発で申しこみ立地やその周辺に全戸配布したいのです。それで福井の方々に連帶するため、スタンディングアピールに参加しました。

「福祉の仕事で35年働き東電の原発事故で人生が変わつてしまつた菅野みづえさんのお話」です。アジェンダかグリーンアクションで申し込み受け付けています。

原発賛成の方々に、こんなことになる覚悟はおありますかと伝えたいのです。他人ごとでない未来が待つてはいませんか、今ならまだ間に合いますよと伝えなければと。

木原壯林さんなど一緒に6人で申し立てたコロナ禍での原発の運転はやめよ仮処分の決定書交付が17日午後から決まりました。どんな決定が出るやら。却下で終わらなければ、不安になりますが、どんな決定があろうとも、今から、ここからと頑張るしかありませんね。